わたしはぶどうの木、
　あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、
　わたしもその人につながっていれば、
その人は豊かに実を結ぶ。
～ヨハネによる福音書15：5－9～

shalom
～聖愛中学校通信～

第9号 2021.6.22（火）発行
文責　松野

shalom（シャローム）は「平和」を意味するヘブライ語。
「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。

恋しい人の声が聞こえます。山を越え、丘を跳んでやってきます。恋しい人はかもしかのよう 若い雄鹿のようです。
旧約聖書　雅歌2：8-9

大変申し訳ありませんが、前回に続き、私のマニアックな趣味におつき合いください…と言いながら、本当は「中3の卒業レポートのプレゼン」を意識して、お手本のつもりで書いているのです。自分の好きなことが自分以外の人にも興味があるとは限りませんが、少しでも内容が伝わるようにしっかり調べ簡単にまとめましょう(下の内容は約5分でした）。

さて、今回は「松野が選ぶ70年代女性アイドル名曲」を紹介します。是非、YouTubeで検索してみてください。

検索

◇太田 裕美（おおた ひろみ）『木綿のハンカチーフ』　1975年発売（私は小6）

作詞：松本隆、作曲：筒美京平による名曲中の名曲です。4番まである歌詞は、都会(東京)で生活するために旅立った男性と故郷(長野県？)に残った女性との遠距離恋愛が終わるまでを会話形式で表現しています。男性が旅立つ1番から始まり、男性が半年も帰ってこない2番、都会の生活に浮かれた男性が女性を捨てる3，4番と続きます。ラストは、今まで男性にプレゼントをねだらなかった女性が、最後の贈り物として「涙をふく木綿のハンカチーフをください」とお願いして物語は幕を閉じます。歌詞の内容とは正反対の明るくリズミカルな曲調、感情を入れ込みすぎない客観的な歌い方、出だしの「…ぼくは旅立つ」でファルセットを使うなど、少し甘えた優しい声と歌の上手さが最大限に引き出されている曲です。日本史上最大のヒット曲「およげ！たいやきくん」や「ビューティフル・サンデー」とともに、当時のヒットチャートの上位でした。スクールメイツの出身で、同期生はキャンディーズの3人です。

◇南 沙織（みなみ さおり）『１７才』　1971年発売（私は小2）

これも筒美京平作曲で、同世代のファンが感情移入できるアイドルポップスの誕生といえる曲です。これ以降、歌詞や作品名に「〇〇才」と年齢が入るアイドル曲が多くなりました。本土復帰前の沖縄県出身の彼女は、英語もペラペラのバイリンガル。そのせいか、英語的発音の歌い方で、ら行と文節最後の声の伸ばし方が特徴です。その伸びやかでハツラツとした歌声は、まさに南国の青い空と海を連想させます。ニューミュージックから洋楽ポップスまで何でも歌えるためファンの年齢層が広く、当時のアイドル代表格です。ニックネームの「シンシア(蟹座の守護神)」は、カトリック信者である彼女の洗礼名。尾崎亜美が楽曲提供した「春の予感 - I've been mellow - 」も名曲です。

◇麻丘 めぐみ（あさおか めぐみ）『わたしの彼は左ききき』　1973年発売（私は小4）

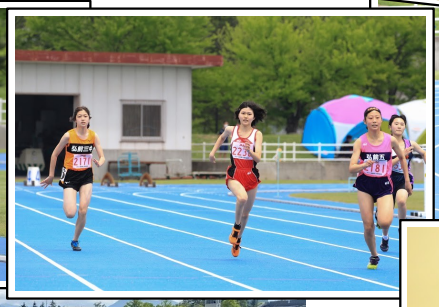
またまた筒美京平作曲。この曲は、当時はまだ少数派だったサウスポーがテーマです。私が知る限り、ここまで自分の彼氏を堂々と紹介している歌は、この曲とキャンディーズ「年下の男の子」以外ありません。歌詞に登場する場面以外でも、彼氏の左ききぶりが連想できる歌に仕上がっています。不思議なのは「～(する)時も(する)時も…」付近の女声コーラスが、歌詞ではなくスキャットでハモっているところ…謎です。彼女の歌声は、高音にさしかかると泣いているような声になることが特徴。詞・曲・歌が三位一体となった曲のハイライト「～意地悪 意地悪なの」の部分で、その特徴が最大限に活かされています。 彼女のトレードマークの髪型「姫カット」は、同世代の女性の間で大ブームで、私が通った小学校でもその髪型の女の子が何人もいました。ちなみに彼女もキリスト教信者です。

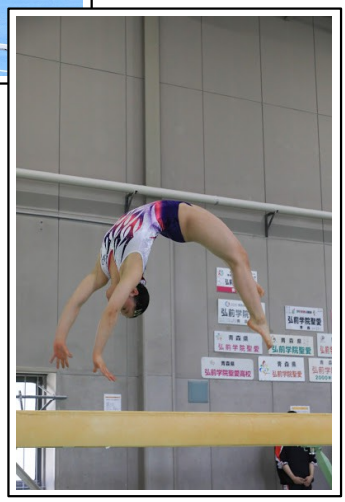
◇山口 百恵（やまぐち ももえ）『夢先案内人（ゆめさきあんないにん）』　1977年発売（私は中2）

まさに70年代を代表するアイドルの中のアイドル(女優)。とんがったロック系「プレイバックPart2」から「秋桜」や「いい日旅立ち」のような文学的な歌まで様々な名曲がありますが、私が一番好きなのがこの曲です。声を張り上げていないのに良く響く歌声と力みのない自然な発声。「～あなたは時々ふりむきwink & kiss」「～ちょっぴり眠い夜明け前です」の自然な歌い方はしなやかで涼しげです。自分が見た夢のことを語っているだけの「ですます調」の歌詞が、かえって「あなた」に対する想いを ほんのりと伝えてきます。癒し系雰囲気に満ちた曲です。それにしても、この曲を歌っている彼女の年齢が18才(卒業直前の高校3年生)とは信じられません。

このほかにも、天地真理「ひとりじゃないの」、アグネス・チャン「草原の輝き」、(アイドルといっていいかわかりませんが）アン・ルイス「グッバイ・マイ・ラブ」、平山三紀「真夏の出来事」など名曲がたくさんあるのですが、それを紹介するには余白が少なすぎます。

◆中体連　～青春の輝き～





◆ものづくり講座　　6月15日(火) 16日(水)

今年もサンモードスクールの先生方をお招きしました。2日目は恒例の写真撮影です。